

# 北広島環境市民の会だより



2018年8月20日発行（18年度第2号、通算第61号） 代表 松田從三 問い合わせ先 ☎011・375・6154（伊東）

## 夏休み子どもリサイクル見学会

恒例の夏休み子どもリサイクル見学会を7月30日（月）に実施しました。札幌市白石区の防災センターと北広島市下水処理センター「あしる」を訪問し、資源を無駄に使うと暮らしに悪影響が出ることを学んでもらいました。

### ★暴風、大雨洪水、大地震を体験

昨年は応募者が少なくて中止しましたが、今年は児童9人と会員たち合わせて18人が参加し、2年ぶりに実現しました。

環境問題で深刻なのは異常気象による大雨洪水や土砂崩れの災害です。異常気象の原因の一つが石油、石炭、天然ガスなど化石燃料の大量消費に伴う地球温暖化です。防災センターでは3D映像などで大雨洪水や風速30メートルの暴風雨、巨大地震、火事を模擬体験しました。



↑大地震の揺れ。クッションで頭を守りました↓消火器を使って火を消したよ！



風速30メートルの暴風被害を体験。強風が吹き、轟音とともに街路樹が軒並み倒されていくのを見ました



## ★下水処理センター「あしる」でバイオガス化を勉強

防災センターに続いて午後には北広島市下水処理センター「あしる」を見学しました。

あしるでは、集められた排せつ物や生ごみを、微生物の力を使って分解してエネルギーを取り出します。さらに、汚泥を乾燥させて窒素やリン、ミネラルが豊富な有機肥料「あしるの恵み」を製造しています。

職員の案内で生ごみの投入口や分解の過程で生まれる沈殿物、製造されたあしるの恵みを見て回りました。(右の3枚の写真参照)

水洗トイレで流すうんこやおしっこが直接川に捨てられるのではなく、あしるに集められてバイオガス化されてエネルギーや有機肥料によみがえっていることに、大きな関心を抱いていました。

## ★事務所の堆肥盤も見学

あしるから帰る途中で北広島環境市民の会の事務局にも立ち寄り、堆肥盤と展示園を見学しました。

堆肥盤のふたを開けて手をかざすと発酵して温度が上がっていることが分かります。「ずいぶん温かいね」と話していました＝下の写真参照。



## 9月4日(火)に市民リサイクル見学会

今回は、クリーンセンターと最終処分場(埋め立て処理場)、下水処理センター「あしる」に加えて、当会会員の古川徳一さんの農園を見学します。

古川さんは長沼町マオイの丘の農園で生ごみ堆肥を使ってミニトマトやトウキビ、プルーンを栽培しています。会の設立当初から生ごみ堆肥作りの出前講座の講師を務めるなどごみの減量化に率先して携わってきました。

当日は午前8時45分にJ R北広島駅東口の芸術文化ホール前か西口の図書館臨時駐車場に集合してバスで回ります。昼食は長沼町の道の駅マオイの丘公園で取ります。見学会終了は午後3時45分～4時の予定です。参加費1,080円(昼食代)。

会員の皆さん、ふるってご参加ください。希望される方は伊東☎375・6154へご連絡を。